



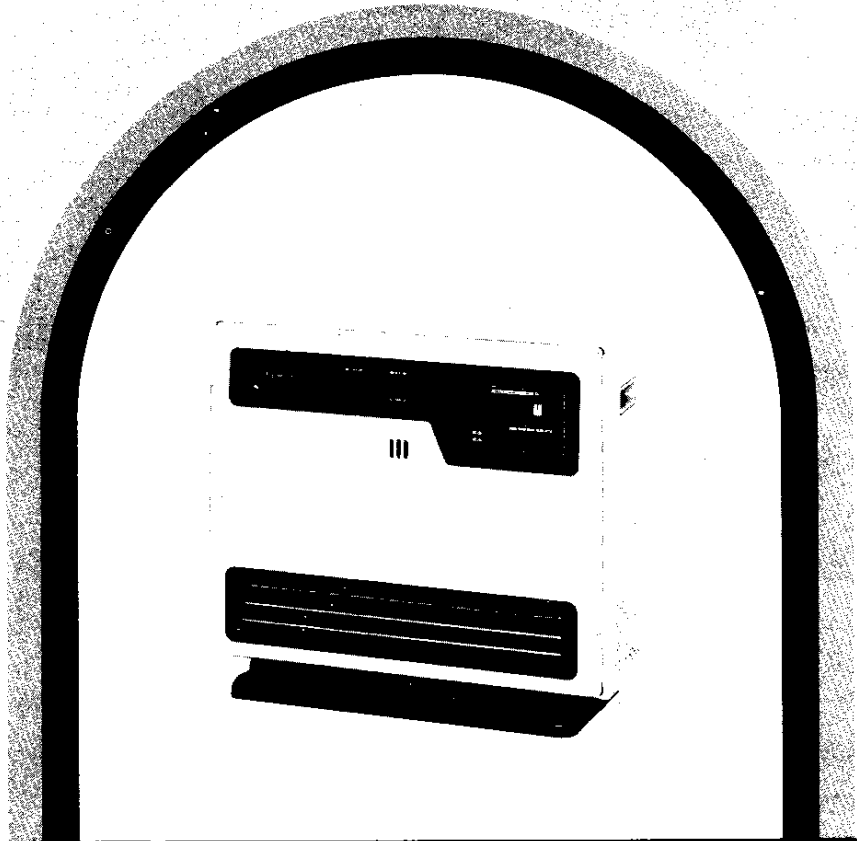
大阪ガス

# ガス ファンヒーター

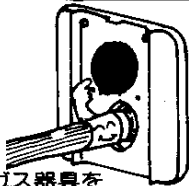
## 取扱説明書 43-720・721型

保証書付

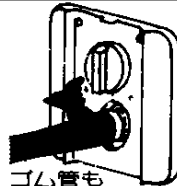
形式の呼び RC-251A-1 RC-251A-2  
RC-321A-1 RC-321A-2



### ガス器具をお使いになるときの注意



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



ゴム管もときどき点検し接続は確実に



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター  
をお求めいただきありがとうございました。  
別添の保証書とともに、この取扱説明書を大  
切に保存してください。

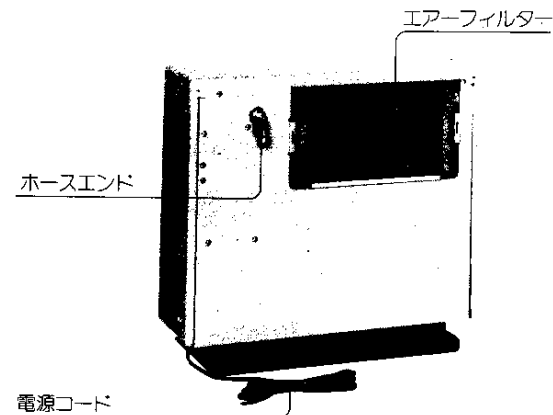
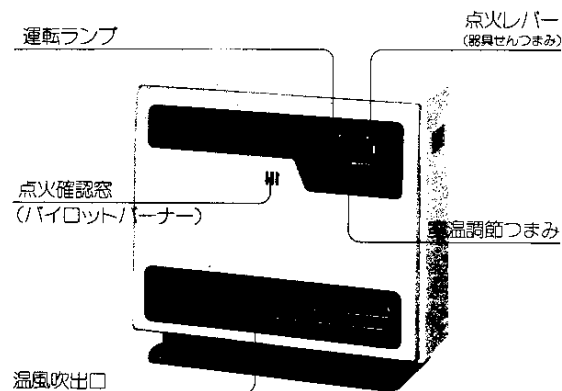
## もくじ

- 各部の名称..... ①
- 特に注意していただきたいこと..... ②
- 器具の設置..... ③
- 使用手順..... ④
- 使用時のご注意..... ⑤  
(安全装置が作動したときの処置方法)
- 日常の点検・手入れ..... ⑥
- 故障異常の見分け方と処置方法..... ⑦
- 長期間使用しない場合..... ⑧
- 特長..... ⑨
- アフターサービスのお申し込み..... ⑩
- 外形寸法図..... ⑪
- 仕様一覧表..... ⑫

## 換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）ではあ  
りませんので換気が必要です。

## 各部の名称

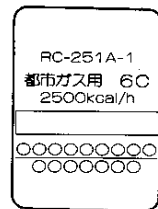
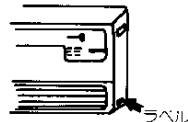


# 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

## 使用ガスについてのご注意

- ・ガスの種類を確かめてください。
- ・ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

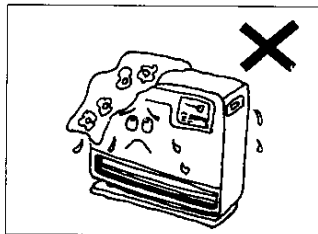


必ず確かめ  
ましょう

- ・都市ガス用 6C
- ・都市ガス用 6A
- ・都市ガス用 13A
- ・LPガス用

## 用途についてのご注意

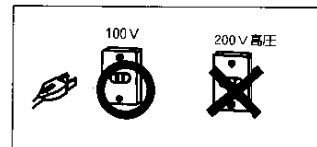
- ・暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
- ・衣類などを器具の上に置いたりすると、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。



# 特に注意していただきたいこと②

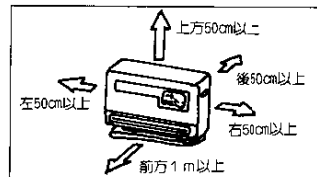
## 使用電源についてのご注意

- ・電源の電圧と周波数を確かめてください。
- この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。



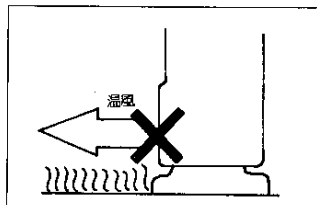
## 使用場所についてのご注意

- ・家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後の壁から50cm、横の壁から50cm、前方1m、上方50cm以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。



- ・器具の使用場所は、ガス元せんの近くをお選びください。
- ・ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりするおそれがありますので、できるだけガス元せんの近くに設置してください。（3m以内）

- ・毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いてください。
- ・温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。

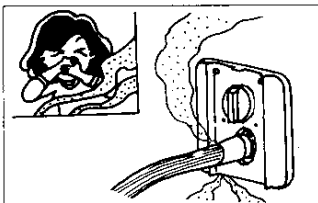


## 特に注意していただきたいこと③

### 使用上のご注意

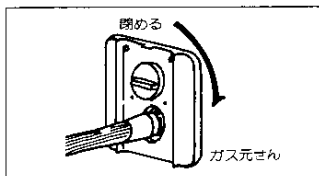
#### ガス漏れ予防

- ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。(ビニル管は弾力性がなく熱にも弱いです) またひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替えてください。



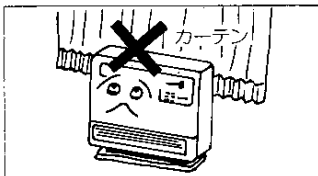
- ・使用後は必ず器具せんを閉じ消火したことを確かめてください。

- ・お出かけやお寝みの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。



#### 火災予防

- ・器具の上やそばに、燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。



- ・火災のおそれがあります。

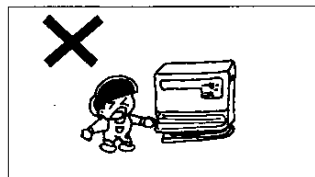
- ・ヘアスプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。
- ・引火するおそれがあります。

- ・火をつけたまま器具を移動させないでください。
- ・ゴム管が折れ曲ったり、抜けたりして危険です。

## 特に注意していただきたいこと④

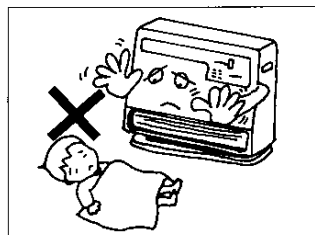
#### やけどのご注意

- ・ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



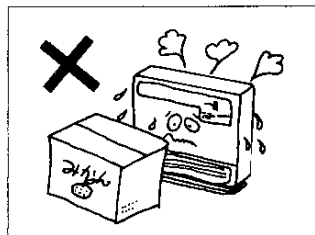
- ・使用中および使用直後は、やけどのおそれがありますので、風向調節はしないでください。

- ・温風をじかに長時間お体にあってますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。



#### 過熱防止

- ・温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面(エアフィルター部)をふさいだりしないでください。
- ・異常過熱して、器具に悪影響をあたえます。



## 特に注意していただきたいこと⑥

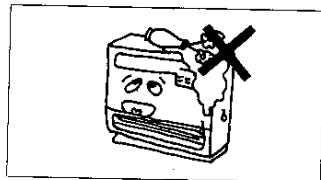
### 換気のご注意

- ・使用中は30分に1回、1分間程度窓を開けるか、換気扇を回すなどとして、お部屋の空気を入れ替えてください。
- ・この器具は強制給排気式(F F式)ではありませんので換気が必要です。



### 水ぬれのご注意

- ・器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
- ・内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



### ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、お買い上げの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社へ連絡してください。
- ・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。
- ・火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

### 異常時の処理

- ・万一異常燃焼を起こしたときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ(器具せんつまみ、ガス元せんを止め)十分な点検をお願いします。  
(故障・異常の見分け方と処置方法については15、16ページをお読みください。)

## 特に注意していただきたいこと⑦

### 日常の点検・手入れ

- ・日常の点検・手入れは必ず行なってください。(詳しくは14ページをお読みください)
- ・故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

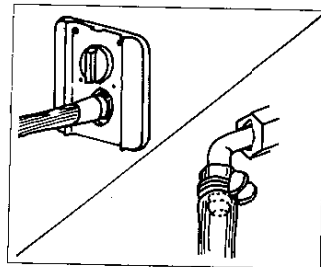
## 器具の設置

### 使用場所についてのご注意

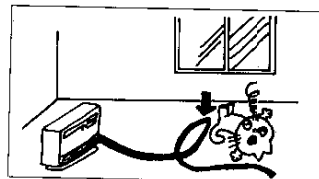
- ・ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

### ゴム管の接続

- ・「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。
- ・ゴム管は9.5mmφ(直径9.5mm)のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドともホースエンドの赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
- ・ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

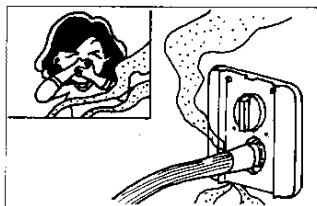


- ・ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし(3m以内)、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。



## 器具の設置②

- ・ゴム管は良質のものを使い、3年くらいを目安に新しいものと取り替えてください。
- ・ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因となり危険です。



## 使用手順

### はじめてお使いのとき

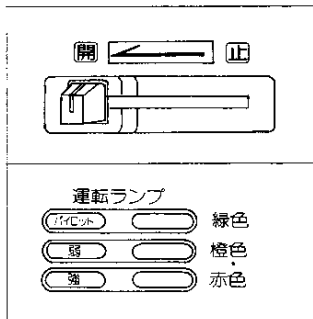
- ・はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかつたあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、すぐに点火しない場合があります。この場合は、点火操作後1分程で器具の運転ランプ(緑色)が消えてしまいます。再度点火操作をくり返してください。

### 点火前の準備と確認

- ・電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。  
〈ご注意〉  
交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。
- ・点火レバー(器具せんつまみ)の「正」を確認し、ガス元せんを全開にしてください。  
〈ご注意〉  
ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

## 使用手順②

### 点火



#### ●点火

- ・点火レバー(器具せんつまみ)を「開」の位置まで確実にスライドさせてください。
- ・同時に「運転ランプ」の最上段「パイロット」(緑色)の点灯を確認してください。点灯しないときは、電源プラグのさしこみを確認してください。
- ・数秒(4~5秒)後にスパークがはじまり、パイロットバーナーに点火します。点火確認窓からパイロットバーナーの点火を確認してください。

#### 〈ご注意〉

はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかつたあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。点火できなくても、火花が止まり「運転ランプ」(緑色)が消えてしまいます。再度点火操作をやりなおしてください。

#### ●暖房運転の開始

- ・パイロットバーナーに点火後、ルームサーモ(室温調節器)の動きによって、運転状態が切り替わります。

#### 〈ご注意〉

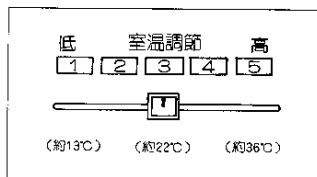
室温および室温調節つまみの位置によっては、パイロット燃焼の音が正常に聞かれないこともあります。室温が高いとき、室温調節つまみが弱位置にあるなど。また、点火したあとやルームサーモ(室温調節器)が作動したあと、火花が止まり消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

#### ●再点火

- ・消火後すぐに再点火するときは、しばらくしてから行なってください。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音がしたり、器具が過熱することがあります。

## 使用手順③

### 室温調節

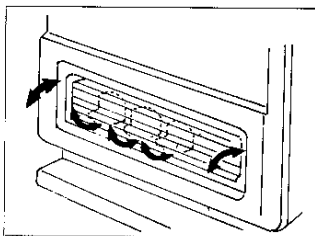


・ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「パイロット燃焼」、「弱燃焼」、「強燃焼」の切り替えで自動的に室温を一定に保ちます。室温調節つまみにより好みの温度に調節してください。各燃焼状態に応じて「運転ランプ」がかわります。

パイロット燃焼 → 緑色(上)  
弱 燃焼 → 橙色(中)  
強 燃焼 → 赤色(下)

- ・室温調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでも目安と考えてください。
- ・家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、好みの温度にならない場合があります。
- ・「強燃焼」中、燃焼状態をチェックするために、10分毎に約1分間、自動的に「弱燃焼」をします。

### 風向調節



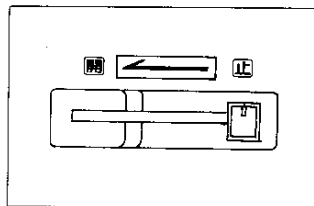
- 風向は上下、左右調節できます
  - ・上下の調節は、吹出部のルーバー(3本)がいつもに回転します。調節するときは両端付近で行なってください。中央付近ではルーバーが変形することがあります。
  - ・左右の調節は、下段の2本のルーバーの間につまむ部分があります。ここをつまんで調節してください。

#### 〈ご注意〉

使用中および消火直後は、ルーバー付近は熱くなっています。やけどのおそれがありますので、風向調節は器具が冷えたときに行なってください。

## 使用手順④

### 消火



- ・点火レバー(器具せんつまみ)を「閉」の位置まで確実にスライドさせてください。
- ・「運転ランプ」が消えますが対流用ファンはしばらく回り、自動的に止まります。
- ・ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

#### 〈ご注意〉

消火後、対流ファン(扇風機)が止まるまで電源は抜かないでください。ファン部の熱を出して過熱をひくすために必要です。電源を抜いた後、必ず消火することはしないでください。

### 停電時の処置

#### ●停電時の処置

- ・停電になったときは、点火レバー(器具せんつまみ)を「閉」にもどし、ガス元せんを止めておいてください。
- 停電後の再点火
  - ・ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

#### 〈ご注意〉

停電になったときそのままだけをし、停電が解消された後、電源が復帰するにつれ、再び燃焼が開始され、燃焼が安定するまでしばらくは燃焼が不安定になります。

## 使用時のご注意

### 安全装置が作動したときの処置方法

#### ●ハイリミットスイッチ(過熱防止装置)

・エアーフィルターが目づまりしたり、温風吹出口が閉塞されたりした場合、器具内が異常に過熱したとき、自動的にガス通路を閉じ、消火します。安全装置は自動的に復帰しますが、点火操作をやりなおさないで再点火しません。この場合、点火レバーを [H] にもどし、エアーフィルターの掃除や、吹出口の障害物などを取り除いた後、しばらくしてから(器具が冷えてから)再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

#### ●過熱防止用温度ヒューズ

・万一異常過熱したときハイリミットスイッチが作動しなかった場合でも、温度ヒューズが作動して、燃焼を停止します。(二重の安全装置)この場合は、器具が冷えても再点火できません。修理および整備が必要です。お買い上げの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

#### ●電流ヒューズ

・ご使用中ならんが原因で過電流が流れ電流ヒューズが切れたときは、運転が止まったままになります。この場合は、点火操作をしても「運転ランプ」が灯かなくなります。修理、点検が必要です。お置上げの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

#### ●停電安全装置

・停電時の異常過熱または、火災などを防止する装置で、停電したときは、ガスが止まります。11ページの「停電時の処置」をお読みください。

## 使用時のご注意②

### 安全装置が作動したときの処置方法②

#### ●消火安全装置

・ご使用中にパイロットバーナー、メインバーナーが消えた場合に、安全装置が働いてガスが止まり、生ガスの放出を防止します。この場合は、点火レバー(器具せんつまみ)をいったん [H] にもどし、再点火してください。ゴム管を踏んだとき、ガス元せんが開きたりなかったとき、ガス圧が異常に低いときや、急に強い風が吹いたときなどにおこります。

#### ●不完全燃焼防止装置

・器具はお部屋の酸素が異常に少なくなったり、燃焼に必要な空気が入りにくくなったりすると、不完全燃焼することがあります。このような場合、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。この場合は、点火レバー(器具せんつまみ)をいったん [H] にもどし、お部屋の空気を入れ替え、器具の周囲の障害物や、エアーフィルターを点検してから再点火してください。

#### ●ファンコントローラ(送風制御装置)

・電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、点火時、消火時に冷風を出さないようにします。対流用ファンは消火後すぐには止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。

#### 〈ご注意〉

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い上げの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ連絡してください。



# 日常の点検・手入れ

## 点検・手入れの際のご注意

- ・点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い上げの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ・点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

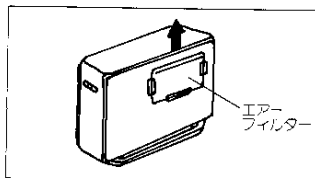
## 点検

- ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ・ゴム管が古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- ・器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

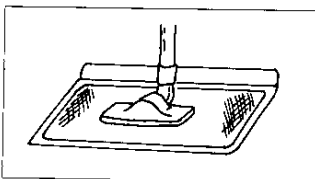
## お手入れ

### ● エアークリナーのお手入れ

- ・エアークリナーは週一度以上必ず掃除してください。エアークリナーは図のように上方に引き出し、電気掃除機などでよくそうじしてください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。
- ・エアークリナーにゴミやホコリがたまると室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱の原因になります。



エアークリナー



# 日常の点検・手入れ②

## 器具外装のお手入れ

- ・やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

### 〈ご注意〉

金具たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

# 特長

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまますぐお使用を中止し、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

故障状況	原因	処置
点火レバー(器具せんつまみ)を回しても運転ランプ(緑色)がつかない。	○電源プラグがコンセントに確実にさし込まれていない。	○電源プラグを確実にさし込んでください。 ○電源は確実にきているが、ランプがつかない場合は、お買い上げの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ点検・修理を依頼してください。
点火操作後、しばらくして(4～5秒)もスパークがとんでいるがなかなか点火しない。	○ガス元せんが全開になっていない。 ○ゴム管内に空気が入っている場合、点火がおくれることがある。 ○ゴム管が長い場合は、とくにおくれます。できるだけ短くしてご使用ください。(8m以内) ○ガスの種類があてはまらない。(2ページをお読みください)	○いったん「閉」にもどってからガス元せんを全開にして、再び点火操作をしてください。 ○約1分間スパークが続きません。それでも点火しないときは、再度点火操作をやり直してください。 ○点火操作を2～3度くり返しても点火しない場合、ガスの種類があてはまらない場合は点検・修理を依頼してください。
点火後操作、しばらくして(4～5秒)もスパークがとばない。(チツ、チツ、……と音がする) ランプはついている。	○スパーク装置に異常がある。(スパークコードの外れなど)	○点検・修理を依頼してください。

## 故障・異常の見分け方と処置方法②

パイロットバーナーに点火して、スパークは止まるが、しばらくすると消火する。 使用中にいつのまにか消火している。	○ガス元せんが全開になっていない。 ○ゴム管が折れ曲っている。 ○ゴム管が長すぎる。 ○エアフィルターがつかまっている。 ○温風吹出口に障害物がある。	○点検して、不具合があればとり除いてください。
	○換気が不十分である。	○使用中は30分に1回1分間程度窓をあけて空気を入れ替えてください。
	○停電があった。	○点火レバー(器具せんつまみ)を <b>Ⅱ</b> にもどし、再点火してください。
	○ガスの種類があっていない。	○点検・修理を依頼してください。
	○上記以外で原因がよくわからない。	○点検・修理を依頼してください。
使用中で、大きな音が生じて消火する。	○燃焼用の空気の通路が詰まった場合などで、バーナーがバックした。	○点検・修理を依頼してください。
ガスの臭いがする。	○ゴム管(接続)の不良。	○ゴム管接続のゆるみ、ゴム管のヒビ割れを調べ、不良のときは取り替えてください。
	○この器具は、燃焼ガスを室内に出しています。点火の初期には少し臭い出ることがあります。	○正常です。換気に気をつけてご使用ください。
	○原因がわからず、臭いがおさまらない。	○点検・修理を依頼してください。
部屋の暖だたまりが悪い。	○ゴム管が折れ曲っている。 ○ゴム管が長すぎる。 ○ガス元せんが全開になっていない。 ○エアフィルターがつかまっている。 ○温風吹出口に障害物がある。	○点検して不具合点をとり除いてください。
	○部屋の大きさ、構造、外気温度や使用場所によっては、お好みの温度にならないことがあります。	

## 長期間使用しない場合

○各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンド)などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。

# 1

設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。

# 2

暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(室温調節器)を備えた省エネルギー志向のファンヒーターです。

# 3

スライド式のワンタッチ点火で、操作が簡単です。

# 4

温風吹出口は、上下・左右に調節できます。使用場所を選ぶときに便利です。

# 5

ルームサーモ(室温調節器)により、「強」・「弱」・「パイロット(たね火)」の3段に燃焼を制御しています。お部屋の温度をこまめにコントロールし、暖めすぎることがなく経済的です。また燃焼状態を3色のランプで表示しています。「強」→赤色、「弱」→橙色、「パイロット」→緑色)

# 6

おちついたデラックスなイメージのデザインです。

# アフターサービスのお申し込み

## サービスのお申し込み

15、16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名……（ファンヒーター）
- (2) 品番……（例）

(N)43-720(U)

大阪ガス株式会社 04

- (3) 現象……（できるだけ詳しく）
- (4) 道順……（できるだけ詳しく）

## 転居される場合

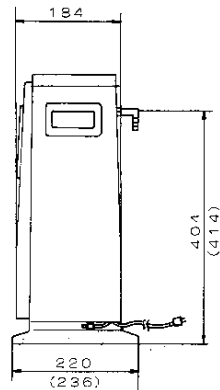
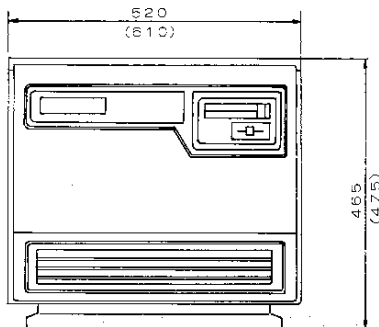
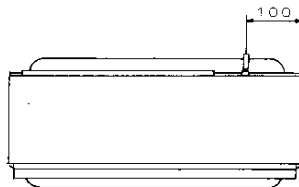
ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上お買上げの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

## 保証書について

- この器具には保証書がついています。このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

# 外形寸法図

- 43-720型・43-721型
- ・図は43-720型の場合です。



( ) 内の寸法は43-721型を示します。

# 仕様一覧表

品名	43-720型		43-721型	
外形寸法 (高さ×幅×奥行mm)	465×520×184(脚220)		475×610×184(脚236)	
重量(kg)	12.5		14	
接続	ガス	9.5mm φガス用ゴム管		
	電気	AC100V、60Hz (電源コード長さ 2m)		
電気消費量(W)	43		43	
ガス消費量	都市ガス	6C	2500kcal/h	3200kcal/h
		13A	2500kcal/h	3200kcal/h
		6A	2500kcal/h	3200kcal/h
	LPガス	0.21kg/h	0.27kg/h	
暖房のめやす	6～9畳(10～15㎡)		8～12畳(13～20㎡)	
燃焼方式	全一次表面燃焼式			
給排気方式	開放式			
放熱方式	強制対流式			
点火方式	電源スパーク点火式			
安全装置	<input type="checkbox"/> 消火安全装置 <input type="checkbox"/> 不完全燃焼防止装置 <input type="checkbox"/> 過熱防止装置 (ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) <input type="checkbox"/> 電流ヒューズ <input type="checkbox"/> 停電安全装置 <input type="checkbox"/> ファンコントローラ			

## おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

## 大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	☎541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202) 2221
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652) 0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301) 1251
堺支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38) 1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻0726(71) 0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26) 3101
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内0729(62) 1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方0720(41) 1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576) 5231
京都支社	☎604	京都市中央区烏丸通御池梅屋町358	☎京都075(231) 8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44) 1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31) 2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85) 2221
東播支社	☎675	加古川市加古川町薬津29-1	☎加古川0794(21) 1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3) 2221
湖南支社	☎525	草津市追分町字荒畑680の1	☎草津0775(62) 5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町9番41号	☎彦根0749(22) 3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜07496(2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

**大阪ガス株式会社**